



Data

監督：外崎春雄
原作：吾峠呼世晴『鬼滅の刃』（集英社ジャンプ コミックス刊）
キャラクターデザイン：松島晃
脚本制作：ufotable
アニメーション制作：ufotable
出演：花江夏樹／鬼頭明里／下野紘
／松岡禎丞／日野聡／平川大輔／石田彰／小山村也／豊口めぐみ／榎木淳弥

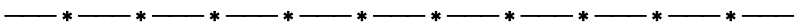
👁️👁️ みどころ

日本列島を襲った新型コロナウイルス騒動も、9月以降は少し沈静化？そう思っていると、10月16日からは突如、鬼滅フィーバーが！

そんな騒動はコロナと違って大歓迎だし、その興行収入は16億→50億→100億→200億→250億と右肩上がり。しかし、私は基本的に興味なし！そんなスタンスだったが、ある日、ある偶然で鑑賞してみると・・・。

複雑な時代背景と状況設定、そして、とがったキャラが目立つ多くの登場人物と多種多様な鬼たち。その全体像を理解するのは大変だが、来年は72歳を迎える私でも、「鬼滅フィーバー」の何たるかは、少しだけ実感！

「柳の下の二匹目のどじょう」を期待して第2弾が登場するのは確実だから、それまでにもう少し勉強しておこう。



■□■ コロナ禍の日本列島を「鬼滅フィーバー」が席卷！ ■□■

黒沢清監督の『スパイの妻』（20年）（『シネマ47』53頁）が第77回ベネチア国際映画祭で銀獅子賞（監督賞）を受賞した。10月16日（金）に公開されたそんな話題作を、私は10月17日（土）に鑑賞したが、シネコンのロビーは子供連れで超満員。売店も長蛇の列をなしていたため、パンフレットも買えない状態だった。

その原因は、コロナ禍の日本列島を突如「鬼滅フィーバー」が襲ったため。「ステイホーム」と「三密防止」が叫ばれた2020年4月以降、映画館からも人が消えていたから、シネコンがこんなにごった返すのを観たのは久しぶり。こりやすごいと思っていると、『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』は、最初の3日間（16日～18日）の興行収入が46億円、11月8日までで204億円、観客動員数が1,537万人を突破し、公開24日間で国内興行収入歴代5位になったそうだから、すごい。もともと、私は連日テレビの各種バ

ラエティ番組で話題にされている「鬼滅フィーバー」に興味ナシ。積極的に観る気は全くなかったが、ある偶然で鑑賞することに。

■□■ 劇場は満席！半分は子供だが・・・■□■

私が本作を観たのは、午前と午後の鑑賞を終えた後の3本目で、14時30分からの上映だったが、大きな劇場は超満員。私の右隣の2人は高校生だったが、左隣は10歳ぐらいの女の子の3人連れだった。事前にパンフレットを購入してパラパラ読んだが、ストーリーはともかく、登場人物はややこしいし、そもそも名前が難しい。子供たちにこんな難しい漢字が読めるの？

また、「鬼滅」の本来のストーリーは“鬼退治”だということは知っていたが、主人公の竈門炭治郎（花江夏樹）が、「鬼殺隊」の剣士とは何とも物騒。また、煉獄杏寿郎（日野聡）は、鬼殺隊における最強の剣士「柱」の一人だということから、「鬼殺隊」は幕末期の「新選組」と同じように身分序列に厳しく、規律も厳しそう。さらに、「炎柱」たる煉獄は、鍛錬に鍛錬を重ね、鍛え上げられた肉体と精神力を持つ「柱」の中でも上位を誇るらしい。すると、そのモデルはさしずめ「新選組」における沖田総司・・・？

■□■ 「鬼退治」は同じでも、童話『桃太郎』とは大違い！■□■

アンデルセン作品の代表たる『白雪姫』や『赤ずきんちゃん』は童話だが、結構恐〜い物語。それと同じように、日本の代表的な童話である『桃太郎』は、桃太郎がイヌとサルとキジを子分に従え、勇んで鬼ヶ島の鬼退治に向かう物語だから、結構恐〜い物語。また、『金太郎』も「熊にまたがり、お馬の稽古」をしている少年時代はのどかな童話だが、成長した後は、坂田金時と名を改め、源頼光配下の四天王の一人として、大江山に住む鬼、酒呑童子を退治する物語だから、本当は恐〜い物語だ。しかし、私が幼児の時に読んだ（読んでもらった）記憶では、『桃太郎』も『金太郎』もファンタジー色が強かったから、怖さを感じることはほとんどなかった。しかして、本作も同じ鬼退治の物語だが、こちらの恐さは『桃太郎』や『金太郎』とは段違い！

前述のように、鬼退治のための舞台である「無限列車」や「鬼殺隊」がかなり物騒なら、それを迎え撃つ鬼の側には、十二鬼月がいるらしい。そして、本作中盤に登場するその中の一人・魘夢（下弦の壱）（平川大輔）は、他人の不幸や苦しみを見ることを悦としており、夢を操る強力な血鬼術を使用するらしい。そのため、無限列車に乗って勇んで鬼退治に出かけた炭治郎や我妻善逸（下野紘）や嘴平伊之助（松岡禎丞）たちは、この魘夢の血鬼術によって大いに苦しめられることに・

■□■ 『無限列車』 vs 『スノーピアサー』！両者の世界観は？■□■

ボン・ジュノ監督の『スノーピアサー』（13年）（『シネマ32』234頁）は、「近未来モノ」であると同時に、「潜水艦モノ」と同じ「密室モノ」の面白さがたっぷり詰まったすばらし

い映画だった。その底流には、聖書にある「ノアの箱船」を映画化した『ノア 約束の舟』（14年）『シネマ 33』196頁）の世界観にも通じるような「末法思想」があったし、厳しい階級対立がストーリー展開の軸になっていた。しかして、なぜ『スノーピアサー』は氷河期の地球を17年間も走り続けていたの？

それと同じように（？）、『無限列車編』と題された本作の主な舞台は「無限列車」の中。それは炭治郎たちの任務の地が「無限列車」になったためだが、短期間のうちに40人もの人が行方不明になっていたのはすべて鬼たちのせい？愛媛県の松山市で生まれ育った私は、高校生の時まで、市内を走る「坊ちゃん列車」に親しんできた。また、梅津寺の海水浴場や群中の祖父母の家に行く時は、伊予鉄道の郊外列車に乗っていた。そんな私だから、「スノーピアサー」の造形と同じように、「無限列車」の造形には興味があったが、その出来は十分満足できるものだ。本作は大正時代の物語だから、座席をはじめ全体的に木製になっているのは当然だが、そのビジュアルを含めてその出来には十分満足！そんな無限列車内で展開される、鬼の魘夢（下弦の壱）と、炭治郎や煉獄たちとの衝突は？

■□■血鬼術とは？夢の世界と無意識の領域は超難解！■□■

本作の主人公・炭治郎もその師匠たる煉獄も鬼退治に向かう「新選組」とイメージすれば、団塊世代の私でも、直感的にそのキャラクターが理解できる。それに対して、本作中盤に無限列車内に登場する十二鬼月の一人（一匹）である魘夢（下弦の壱）は前述のキャラクターだが、その血鬼術とは一体ナニ？「夢の世界」や「無意識の世界」は映画の中に時々登場するが、概してそれはわかりにくい。しかし、そうだからこそ、それをスクリーン上でいかにビジュアル的に見せるかが腕の見せ所になるが、さて本作では？

魘夢が操る血鬼術はかなり強力だから、炭治郎は簡単にそれにかかってしまい、妹の竈門禰豆子（鬼頭明里）を含む家族と楽しく過ごすことに。その夢の中から抜け出すために炭治郎は自らの首に刃を当てることになるのだが、さてその展開は？他方、煉獄も血鬼術にやられていたが、こちらはさすがにやられっぱなしではなく、「無意識の領域」の中でも自分の意志でそれを突破していくからそんな煉獄の力量に注目！そして、魘夢の血鬼術から抜け出した煉獄は、「炎柱」たる自分の最大の武器である「炎の呼吸」を使って、魘夢と対決することになるが、それが本作中盤最大のスペクタクルになるので、そのド派手な展開をしっかりと楽しみたい。

■□■煉獄と猗窩座（上弦の参）との死闘は？■□■

私は最近『半沢直樹』シリーズ人気に便乗した「100倍返しまんじゅう」を味わったが、「鬼滅フィーバー」に便乗した多くのものの1つに、「鬼滅の刃」の女性キャラクター甘露寺蜜璃と同じ名前の、和歌山県紀の川市の古刹・甘露寺が、「恋の聖地」として鬼滅ファンの人気を集めていることが、新聞で報じられた。

そんなバカバカしい話題(?)の一方で、11月24日付、読売新聞は、畑中章宏(民俗学者)の『「鬼滅」残酷な近代への哀惜』を掲載した。そこで語られている「同情、共感 鬼と人の伝統的關係」は、なんともクソ難い解説(学説)だが、本作ラストに登場する猗窩座(上弦の参)の人格(鬼格?)を考える上で、これは大いに参考になるので、しっかり勉強したい。猗窩座(上弦の参)が魘夢(下弦の壱)以上に強力な力を持っているのは当然だが、面白いのは、彼が強者に対する敬意を持っていること。猗窩座は魘夢に勝利した煉獄に対して非常な敬意を払っているため、何とか煉獄との対決を避けたいらしい。そのため、あくまで立ち向かってくる煉獄を受け止めながらも決定的な反撃をせず、何度も「つまらない人間なんかやめて、楽しい鬼の世界と一緒に活躍しよう」と勧誘してくるので、その展開に注目!諸葛孔明だって、劉備玄德からの「三顧の礼」によって劉備の部下になったのだから、煉獄だって猗窩座からそこまで高く評価され、勧誘されれば、ひょっとして・・・?

宮本武蔵 VS 佐々木小次郎の「巖流島の決闘」は一瞬でケリがついたが、本作に見る猗窩座と煉獄との死闘はそんな興味を持たせつつかなり長く続くので、しっかり楽しみたい。

2020(令和2)年11月26日記